

【2024年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース/作業療学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
基礎作業学演習	OSP33-001	必修	1	3	後期
担当教員	研究室	電子メールID		オフィスアワー	
榎田 哲弥 他	C308	t.enokida		金曜日 14:40～17:00	
授業の目的・概要	本科目は1年次の「基礎作業学」を礎として、具体的な諸活動が臨床でどのように用いられ、またどのように用いられれば有効なのかについて理解することを目的とする。作業療法で用いられる諸活動を実際に体験するなかで、身体的側面のみならず、精神心理的側面や環境・個人因子の側面からも、対象者によって異なる各活動の治療的な意味を検討していく。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
学習上の助言	授業内容に関する質問は、授業中及びオフィスアワーの時間に受け付けている。疑問や不明な点は早期に解決し、授業の進行に合わせて理解を深めてほしい。 また、本科目では、基礎医学、運動学、基礎作業学、領域ごとの作業療法評価・治療の基礎的知識も必要となるため、適宜それらの知識を用いる準備ができていることが望まれる。				
教科書	標準作業療法学 基礎作業学第3版/編:濱口豊太/出版社:医学書院/2017年				
参考書	ひとと作業・作業活動 新版/著:山根寛/三輪書店/2017年				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	作業が人や環境にどのような影響を与え得るのか、作業の種目別に説明することができる。			OT(1)、(2)	
②	諸活動に必要な道具・材料を挙げ、その使用法を説明できる。			OT(2)	
③	責任をもち円滑に活動の準備・片付けを行い、作品を大切に扱うことができる。			OT(1)、(2)	
④	対象者に応じたそれぞれの活動の治療的意味について説明できる。			OT(1)、(2)	
⑤	対象者の疾患、症状・障害、背景等に応じた作業活動を提案することができる。			OT(1)、(2)	
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション、包括的作業分析	講義、演習	事後：資料・教科書の復習	1	
2	作業分析、集団を用いる作業	講義、演習、GW	事前：教科書 p188～194 事後：資料・教科書の復習	1	
3	レクリエーションの計画・準備	講義、演習、GW	事前：集団・レクの文献概覧 事後：レク概要をまとめる	1	
4	レクリエーションの計画・準備	講義、演習 GW	事前：レクのポイントを絞る 事後：レク内容・実施の最終確認	1	
5	レクリエーション実施①	発表、討論	事前：実施やレク評価の準備 事後：レクの振り返り・考察	1	
6	レクリエーション実施②	発表、討論	事前：実施やレク評価の準備 事後：レクの振り返り・考察	1	
7	レクリエーション実施③	発表、討論	事前：実施やレク評価の準備 事後：レクの振り返り・考察	1	
8	革細工① 革細工作製の流れ、使用する道具・材料について学習する。革のカット、図案写しなどを行う。	講義、演習	事前：資料/動画で予習する 事後：資料を中心に復習する	1	
9	革細工② カービング、スタンプング、モデリングを行う。	演習	事前：資料/動画で予習する 事後：資料を中心に復習する	1	
10	革細工③ カービング、スタンプング、モデリング、彩色を行う。	演習	事前：資料/動画で予習する 事後：発表の準備をする	1	
11	革細工④ 彩色、穴開け、レーシングを行う。	演習	事前：資料/動画で予習する 事後：資料を中心に復習する	1	
12	自由課題①	講義、演習、 GW	事前：必要な資料を揃える 事後：資料を中心に復習する	1	
13	自由課題②	演習、GW	事前：計画を調整する 事後：実施内容の振り返り・ 考察	1	

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース/作業療法学科】

14	自由課題③	演習、GW	事前：実施の準備・調整 事後：実施内容の振り返り・ 考察	1					
15	自由課題④	発表、討論	事前：実施の準備・調整 事後：実施内容の振り返り・ 考察	1					
試	定期試験 達成評価・評価のポイント参照								
達成度評価									
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計		
		50	30	20	0	0	100		
総合力指標	知識・技術力	30	5	5	0	0	40		
	思考・推論・創造する力	10	15	5	0	0	30		
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0		
	発表・表現伝達する力	0	0	5	0	0	5		
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0		
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0		
	問題を発見・解決する力	10	10	5	0	0	25		
評価のポイント					フィードバックの方法				
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点							
試験	①	✓	学期末に定期試験（筆記試験）を実施し評価する。試験は授業で学んだことや取り組んだことから出題し、知識とその理解度や、考えられることを問う。				全体に向けた講評を授業時または Teams 上で行い、必要に応じて対面またはリモート等で個別に振り返りを行う。		
	②	✓							
	③								
	④	✓							
	⑤	✓							
レポート	①	✓	レクリエーション、革細工、自由課題の3つに関してレポートを課す。特に考察部分を重視する。Teams 課題機能で提出してもらう。				個別に Teams 上で行う。		
	②	✓							
	③								
	④	✓							
	⑤	✓							
	⑥	✓							
成果発表	①	✓	レクリエーションの実施（計画書も含む）と、作品（革細工、自由課題の2つ）について評価する。レクリエーションでは、計画・準備、集団の扱い、実施上の仕切り、作業療法として用いることが適切なものであるかなどを重視する。作品では、出来栄えよりも、授業で扱われた道具・技法等が用いられ、作業療法として行うには適切であり、楽しむこともでき、最後は丁寧に仕上げられ、完成品も楽しめること（飾ったり、プレゼントしたり、普段使ったり）などを重視する。				授業時間内に実施する。		
	②	✓							
	③	✓							
	④	✓							
	⑤	✓							
	⑥								
ポートフォリオ	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
その他	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
備 考									
他 担 当 教 員	渡辺 俊太郎、向山 秀								
教員の実務経験	主担当教員は作業療法士として10年以上の臨床経験を有する。								
実践的授業の内容	配布資料の内容と併せて、臨床を通して得た知見に基づき作業療法に必要な基本的な知識や考え方を教授する。								
そ の 他	大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めない可能性がある。 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更の可能性があります。								